

せつ明文の内よつを読み取る

正答数

4

マーク



月 日 年 組 番

名前

次の文章を読んで、下の問題に答えましょう。

① 今、地球に生きのこっているゾウのなかまには、大きく分けて、アジアゾウとアフリカゾウがいる。見分け方は、アフリカゾウのほうが体も耳も大きい。② 動物園に行ったら、たしかめてみよう。

ゾウを目の前にしたら、もう一つ、たしかめたいことがある。

動物学者の遠藤秀紀さんえんどうひできは言う。

「いいですか、ゾウの鼻をよく見てくださ③い。本当に鼻でしようか？」

自分、つまりヒトの鼻とくらべると、はつきりとわかるはずですよ。」

「じつは、鼻と見えるのは、鼻といっしょに上くちびるが、グリーンと長くのびたものなのです。」

たしかにゾウには、上くちびるが見当たらない。つまり、上くちびるがのびた先に、鼻のあながある。

このように、ゾウのとてもかわった鼻(上くちびる)は、息をして、においをかくほかに、さまざまに使われ方をする。

まず思いうかぶのが、手のように使うこと。よくゾウは、四本の足と一本の手をもつ動物といわれる。

えさを口に運んだり、丸太を持ち上げたり、いろいろな動きができる。

また子どものゾウは、おでこを出歩く時、親のしっぽを鼻でつかんでいることもある。あぶない目にあわないうように、小さい子どもが、お母さんと手をつなぐのどにている。親子のふれあいだ。

(山本省三)「ゾウの長い鼻には、おどろきのわけがある！」より)

① 今、地球に生きのこっているゾウのなかまとは何ですか。文章中から二つぬき出しましょう。

[] []

② 動物園に行ったら、たしかめてみようと思いますが、どのようなことをたしかめるのですか。次から一つえらびましょう。

1 ゾウはアジアとアフリカにしかないこと。

2 アフリカゾウのほうが数が少ないこと。

3 動物園にいるゾウがアジアゾウかアフリカゾウかということ。

③ 本当に鼻でしようかとありますが、ゾウの鼻はどのようなものかと言っていますか。□□にあてはまる言葉を、文章中からぬき出しましょう。

[] []
が
もの。

④ ゾウは鼻を手のように使うとありますが、そのような使い方としてあてはまらないものを次から一つえらびましょう。

1 息をして、においをかく。

2 えさを口に運ぶ。

3 丸太を持ち上げる。

4 子どものゾウが親のしっぽをつかむ。

[] []

せつ明文の内よつを読み取る

- | | | | |
|-----|-------|-----|--------|
| (4) | (3) | (2) | (1) |
| 1 | 上くちびる | 3 | アジアゾウ |
| | | | アフリカゾウ |
| | | | 長くのびた |